

第 4 回 通 常 総 会 記 録

日 時 昭和48年6月9日 午後1時

場 所 農協会館5階ホール

最近の農村の変貌は甚だ著しいものがあり、ひしひしと迫る環境汚染の問題、あるいは農業構造の改革、農業労働の変化による農民の健康阻害、或は健康破綻に導く要因等を、医学的な立場から調査研究し明るい農村を築くために寄与しようとする本会に対し、会員の方々及び関係諸機関のご協力によりまして、ここに第4回の通常総会を迎えるはこびと相成りました。

調査研究も着々とすすめられ、その実績は第4巻で発表することができました。

本総会は、88人の出席者と委任状76通で、定刻に開催され、議案審議もどきどき進められ、最後に金沢大学医学部の岡田教授の特別講演「健康管理の進め方」を拝聴し無事総会を終了いたしました。

以下総会の議事の概要と、提出資料を掲載し参考に供します。

議 事 の 概 要

- 会 員 総 数 213名 うち出席88名、委任状76名
- 会 長 挨拶 豊田文一
- 議 長 選 任 上市厚生病院長 越山健二氏議長となる。
- 議事録署名者及び書記指名

議事録署名人 高岡市 浦上節子 福光町 名村桂子

書 記 石倉俊宜 玉井真

◦ 議 事

- 第1号議案 昭和47年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について
事業の概要と主なる行事の報告に併せ、財産目録及び収支決算について報告承認を得た。
- 第2号議案 昭和48年度事業計画及び収支予算案承認について
昭和48年度の事業計画と収支計画案を説明し承認を得た。
- 第3号議案 役員改選について
任期満了により新しく次記名簿の方々が決定された。
- 第4号議案 顧問として次記名簿の方々にご依頼することが承認された。

特 別 講 演

金沢大学医学部教授 岡田 晃 氏

演 題 (健康管理の進め方) 講演録1頁～11頁に掲載

役 員 名 簿

理 事			
氏 名	役	職	
豊田文一	金沢大学教授		学校学術関係
長谷田祐作	県立技術短期大学教授		"
佐藤英雄	"		"
穴口市良	富山県農産普及課長		県農業水産部関係
渋谷知一	富山県厚生部次長		県厚生部関係
飯田久行	" 医務課長		"
本田重雄	" 公衆衛生課長		"
松井信勝	" 農協中央会副会長		農協関係
石黒正仁	" 厚生連会長		"
久保田憲太郎	" 衛生研究所々長		研究機関関係
千田逸郎	" 農村医学研究所部長		"
岸岡保	富山保健所々長		保健所関係
菅野利克	高岡保健所々長		"
石田礼二	富山県医師会学術振興担当理事		県医師会関係
越山健二	上市厚生病院長		公立病院関係
西能正一郎	西能整形外科病院長		開業医関係
林 修	農協高岡病院長		農協病院関係
伊藤三広	農協滑川病院長		"
荒川邦彦	富山県農協青年組織協議会委員長		農協青年組織関係
竹部喜代子	" 婦人組織協議会会長 (以上 20名)		農協婦人組織関係
監 事			
水木正雄	砺波厚生病院長		公立病院関係
水巻清三	高岡市農林部長		市町村関係
(以上 2名)			
顧 問			
中田幸吉	富山県知事		
吉田 実	富山県農協中央会長		
堀 健治	富山県市長会長		
森松孝作	富山県町村会長		
福田博	富山県医師会長		
大間知健二	富山県農業水産部長		
佐々木裕雄	富山県厚生部長		
樋掛忠平	富山県信用農業協同組合連合会長		
関口秀雄	富山県経済農業協同組合連合会長		
荒野太作	富山県共済農業協同組合連合会長		

事業報告書

昭和47年4月1日～昭和48年3月31日

昭和47年度終了にあたり、ここに事業の概況ならびに決算関係諸表をご報告申し上げます。本年は前年度に引続き本会に課せられた使命にのっとり、本県における農山村の実態を医学的に調査研究し、総合的な把握を行ないながら健康な農山村を築き上げるための努力を続けて参りました。特に本年度は農協婦人部及び関係諸機関の方々のご協力により農協婦人の貧血調査に取組み 1,091名の調査を実施し、次年度調査への大きな足がかりとすることができました。当初計画しておりました調査研究の各事項については富山県農村医学研究会誌第4巻にそれぞれの業績を掲載することができました。会員各位のご理解とご協力によりまして第4年度も順調に進めさせていただきましたことを深く感謝申し上げます。

主なる事業

年月日	主なる行事		
47. 4. 26	専門委員会	於厚生連会議室	貧血の調査方法について
47. 5. 16	役員会	於農協会館5階会議室	47年度事業計画及び決算報告について
47. 5. 18	専門委員会	於厚生連会議室	貧血調査について
(自 47.5.23 至 47.6.20)	貧血調査実施(県下22地区)		
47. 6. 3	第3回通常総会	於昭和会館ホール	特別講演「社会医学の立場からみた出稼ぎの検討」 東京医科歯科大学教授 柳 沢 文 徳 博士
47. 6. 21	専門委員会	於厚生連会議室	貧血調査の検査項目別、正異常の線引きについて
47. 7. 5	専門委員会	於厚生連会議室	各地区資料の送付及び異常者通知の件
47. 8. 22	役員会	於厚生連会議室	貧血者及び風診抗体(-)者の通知及び貧血者追跡調査について
47. 9. 5	専門委員会	於厚生連会議室	貧血者個人データの検討
47. 10. 3	専門委員会	於厚生連会議室	個人データの検討と諸事項の因果関係について
47. 10. 21	貧血調査中間報告会	於農協会館5F会議室 (対象) 婦人部代表者、生活指導員 (報告者) 石田 礼二、専門委員	
47. 10. 24	専門委員会	於厚生連会議室	異常者 247名の追跡調査方法及び48年度の実施方法について
47. 11. 14	役員会	於農協会館5F会議室	雑誌の編集と事業計画について
48. 1. 18	役員会	於農協中央会会議室	雑誌の原稿締切と投稿依頼について
48. 2. 9	専門委員会	於厚生連会議室	異常者 247名の追跡調査方法について (栄養調査を含む)
48. 3. 5	編集委員会	於厚生連会議室	掲載順序の検討
48. 3. 30	編集委員会	校正	

財産目録

昭和48年3月31日

内 訳	金 額	
預 金	66,919	
計	66,919	

富山県農村医学研究会

昭和47年度 収 支 決 算 書

自 昭和47年 4 月 1 日 至 昭和48年 3 月31日

項	目	予 算 額	実 績	差 引 増 減
会 費 取 入		60,000	40,200	△ 19,800
	会 費	60,000	40,200	△ 19,800
援 助 取 入		3,000,000	3,550,000	550,000
	助 成 金	1,500,000	2,000,000	500,000
	特 別 負 担 金	1,500,000	1,550,000	50,000
雑 取 入		21,655	11,599	△ 10,056
	雑 取 入	21,655	11,599	△ 10,056
前 期 繰 越		328,345	328,345	0
収 入 計		3,410,000	3,930,144	520,144
会 議 費		350,000	345,995	△ 4,005
	總 会 費	80,000	140,295	60,295
	役 員 会 費	120,000	98,910	△ 21,090
	専 門 委 員 会 費	100,000	51,470	△ 48,530
	編 集 委 員 会 費	50,000	55,320	5,320
事 業 費		2,690,000	3,206,290	516,290
	研 究 調 査 費	2,050,000	2,592,990	542,990
	研 究 集 会 費	100,000	0	△ 100,000
	雑 誌 発 行 費	450,000	532,700	82,700
	通 信 費	50,000	67,000	17,000
	消 耗 品 費	20,000	5,600	△ 14,400
	備 品 ・ 什 器	20,000	8,000	△ 12,000
旅 費 交 通 費		250,000	247,300	△ 2,700
	旅 費 交 通 費	250,000	247,300	△ 2,700
事 務 費		50,000	50,000	0
	事 務 費	50,000	50,000	0
雑 費		50,000	3,640	△ 46,360
	雑 費	50,000	3,640	△ 46,360
予 備 費		20,000	10,000	△ 10,000
	予 備 費	20,000	10,000	△ 10,000
次 期 繰 越		0	66,919	66,919
費 用 計		3,410,000	3,930,144	520,144
差 引		0	0	0

昭和48年度 事業計画

昭和48年4月1日～昭和49年3月31日

1. 職業性疾患の調査研究
 - 潜在性疾病、農夫症、ビニールハウス病等の調査研究
 - 農村婦人の貧血に関する調査研究
2. 産業災害の調査研究
 - 農業用機械による災害及び自動車等による災害の調査研究
3. 健康管理についての調査研究
 - 農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導・農山村民の健康管理の調査研究
4. 農村特有の疾患の調査研究
 - 伝染病、風土病等多発性疾患の疫学についての調査研究
5. 農村における社会医学的問題の調査研究
 - 出かせぎ等による経済的、社会的問題の調査研究
6. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
 - 大気汚染、水質汚染等についての調査研究
7. その他目的達成に必要な事項

富山県農村医学研究会

昭和48年度 収 支 予 算 書 (案)

昭和48年4月1日 昭和49年3月31日

収 入 の 部			
項	目	予 算 額	内 訳
会 費 収 入		60,000	
	会 費	60,000	会費 200人×300円
援 助 収 入		3,600,000	
	助 成 金	1,800,000	県費助成金
	特 別 ・ 負 担 金	1,800,000	農協各連負担金
雑 収 入		23,081	
	雑 収 入	23,081	預金利息その他
前 期 繰 越		66,919	
合 計		3,750,000	

支 出 の 部			
項	目	予 算 額	内 訳
会 議 費		390,000	
	総 会 費	100,000	会場借上料、資料代など
	役 員 会 費	120,000	年12回会場借上料
	専 門 委 員 会 費	100,000	委員会開催費用
	編 集 委 員 会 費	70,000	雑誌編集委員会費用
事 業 費		2,700,000	
	研 究 調 査 費	2,000,000	研究調査費・学会参加旅費
	研 究 集 会 費	100,000	学会々場借上料その他会場設備費 資料及び案内状印刷代・講師謝礼 集会雑費
	雑 誌 発 行 費	500,000	年1回 500部
	通 信 費	50,000	
	消 耗 備 品 費	30,000	事務用消耗品、その他
	備 品 ・ 什 器	20,000	書庫など
旅 費 交 通 費		300,000	
	旅 費 交 通 費	300,000	役員会旅費、専門委員会旅費
事 務 費		340,000	
	事 務 費	340,000	パート雇上料、印刷代、その他
雑 費		10,000	
	雑 費	10,000	
子 備 費		10,000	
	子 備 費	10,000	
合 計		3,750,000	

望まれる調査研究事項

1. 農夫症、ビニールハウス病等の職業性疾患について
2. 農業用機械、自動車等による産業災害に関する調査研究
3. 労働時間、休憩時間、作業強度、作業姿勢等の健康におよぼす影響についての調査研究
4. 農民の年齢、性その他の身体的諸条件に応じた作業法（たとえば婦人労働、老人労働など）についての調査研究
5. 農民の使用する毒物、劇物、農薬等に関する中毒学的試験および検査ならびに安全使用法、健康におよぼす影響等必要な調査研究
6. 人畜共通伝染病についての調査研究
7. 農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導、医療確保（医療施設の整備、医師等の医療従事者の確保）など、農山村民の健康管理についての調査研究
8. 衣生活および住生活、活動と休養、体格と機能の生理衛生ならびに健康増進方法についての調査研究
9. 農民の食生活の実態および米、塩等、農民が多量に摂取する食品の栄養学的研究
10. 農山村における水道、下水道、汚物処理、そ族こん虫等の環境衛生に関する調査研究ならびに住宅その他地域計画の保健衛生に関する分野の調査研究
11. 農村保健に関する衛生統計、社会統計等の諸統計や各種データ収集、解析および資料の編さん
12. 伝染病、風土病および農村特有の多発性疾患の疫学について
13. 農村における社会医学的問題の調査研究
14. 農村における人口動態、人口移動、人口年齢構造など人口現象について
15. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
16. その他農山村保健の推進のため必要な調査研究

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostigmin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字Mocacus rhesus, 山椒藻Salvinabatah 等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートル m、センチメートル cm、グラム g、キログラム kg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロン（:）ゴシックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図書は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右 6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）図書の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

文 献 1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭40. 5のごとく）
2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

富山県農村医学誌の編集にたづさわりの、第5巻までの編集を終え刊行できた。はじめは、いろいろと役員会でも、どんな雑誌ができあがるか心配で、たくさんの意見もでた。巻を重ねるにつれ、質、量共に安定してきて、その内容も、学会が求めている調査研究に近いものになりつつあり、原稿も無理をしなくても集まり、編集する者にとっては、だんだん楽な仕事になってきたので嬉しい事だと思う。

第5巻は金大医学部岡田教授の「健康管理のすすめ方」、豊田会長の「健康管理に対する理念の転換」に示される如く、私共医療にかかわりのある技術者や、関連科学者への基本的な提言と指向がなされている事に注目したい。学会の重要テーマとして、農村婦人の貧血は、今後も、その原因や対策について地道な研究がなされるであろうが、それに関連した栄養調査は、まとまりをみないまま「調査資料」として一般の参考に資する事にした。

第5巻の編集で、一つの節であろう。ここらで本誌の評価をしてみる事も必要である。会員諸兄の重要な御意見を賜り度いものと思う。

越山 健二

編 集 委 員 長谷田祐作、越山 健二、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌 第5巻 昭和49年3月25日印刷・昭和49年3月31日発行
富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)41-7261
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 岩 井 久 作
印刷所 菅野印刷興業株式会社 富山県黒部市三島町 電話0765-52-0112